

会 告

第74回講演大会講演募集

講演申込締切 6月30日
講演前刷原稿締切 8月10日

本会は第74回講演大会を今秋10月1日より3日間、北海道大学(札幌市)において開催することになりました。詳細は追って会告いたしますが、下記申し込み要領により講演募集をいたしますので、奮ってご応募下さるようご案内いたします。

なお、今回より募集方法が改められ、従来の第1種講演形式は取り止め、第2種講演形式のみとなりました。したがって内容を論文として投稿ご希望の方は、講演後早い機会に現在の規程による「講演論文」に準じてご投稿いただくか、あるいは「論文」として任意にご投稿をお勧めいたします。

講演申し込み上の注意

1. 講演申込み資格

講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続を済ませられたうえ、講演申し込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続をされるよう希望いたします。

2. 申込用紙

講演申込みは、添付講演申込み用紙をご使用下さい。

3. 申込用紙記載について

1) *印をのぞき(A),(B)の両方にご記入下さい。

2) プログラム編成上の参考としますので、「講演分類欄」に講演内容が下記のいずれに該当するかおよび基礎、応用の別をご記入下さい。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
原	燃	耐	製鉄 (特殊製鉄・フェ) (ロアロイを含む)	製鋼・溶解	造塊	塑性加工	熱処理	鉄鋼の組織・性質	鑄物	溶接 (溶接技術全般)	腐食・表面処理・防食	分	試験・検査技術	計測・自動制御	I E その他一般技術	そ の 他
料	料・熱	火物										析				

3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。

4) 講演者には必ず氏名の前に○印をつけて下さい。

5) 講演内容の要旨は100字を限度としてご記入下さい。

4. 申込みの受理

別記申し込み要領をご覧のうえお申し込み下さい。ただし下記の申し込みは理由の如何にかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意下さい。

- 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申し込み
- 2) 必要事項が記入されていない申し込み
- 3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合
- 4) 単なる書簡または葉書による申し込みならびに電報、電話による申し込み

東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 F
日本鉄鋼協会 編集課 Tel. 東京(03)279-6021(代表)

講演申込要領

1. 講演の内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表。
(設備技術、I Eなどに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演申込締切 昭和 42 年 6 月 30 日 (金) 着信厳守のこと
3. 申込方法 別記「講演申し込み上の注意」をご覧のうえ、綴込みの講演申込用紙に必要事項をご記入、25円切手(オフセット用原稿用紙送料)を添えお申し込み下さい。
4. 講演時間 1 講演につき講演 15 分、討論 5 分。
5. 講演前刷原稿 講演前刷原稿はオフセット印刷いたします。
1) 申し込み受付後、講演者に所定のオフセット用原稿用紙をお送りいたしますので、原稿用紙 1 枚(表、図、写真を含め 1300 字)に黒インクまたは墨で明瞭にお書き下さい。(執筆案内は原稿用紙送付の際同封いたします)
2) 原稿は読者が、研究内容、成果などを理解しやすいようにお書き下さい。
6. 前刷原稿締切 昭和 42 年 8 月 10 日 (木) 着信厳守のこと
7. 講演前刷 「鉄と鋼」臨時増刊(号数未定)第 74 回講演大会講演概要集として発行、会員全員に配付いたします。

第 74 回講演大会討論会講演募集

第 74 回講演大会の際に行なわれる討論会の討論講演を下記要領により募集いたしますので奮ってご応募下さい。
記

1. 討論テーマ
 - 1) 高炉におけるカーボン煉瓦の効果について
(建設時のねらいと実績、解体結果、適正使用箇所) 座長 雀 部 高 雄君
 - 2) 非鎮静鋼塊の凝固と鋼塊性状について
(大型リムド鋼、セミキルド鋼鋼塊の偏析) 座長 荒 木 透君
 - 3) 耐候性鋼のさびとその防食効果 座長 岡 本 剛君
 - 4) 鉄鋼生産技術への R I の利用
(加工技術を中心とする) 座長 加 藤 正 夫君
 - 5) 鉄鋼の格子欠陥 座長 橋 口 隆 吉君
2. 申込締切日 昭和 42 年 6 月 30 日 (金) 着信厳守のこと。
3. 申込方法 添付講演申込書に必要事項ご記入のうえ、申込書右肩に討論と朱書きし、25円切手(オフセット用原稿用紙送料)を添えお申し込み下さい。
4. 講演時間 原則として 1 講演 20 分。
5. 討論講演の採否 討論講演としての採否は討論会座長にご一任下さい。万一不採用となりましても、一般講演としてプログラムに編入いたしますのであらかじめお含みおき下さい。
6. 講演前刷原稿 講演原稿はオフセット印刷いたします。
1) 採用決定後、講演者に所定のオフセット用原稿用紙を送付いたしますので、原稿用紙 4 枚以内(表、図、写真を含め 5,600 字)に黒インクまたは墨で明瞭にお書き下さい。(執筆案内は原稿用紙送付の際同封いたします)
2) 討論原稿は「鉄と鋼」臨時増刊号、第 74 回講演大会講演概要集に掲載いたします。
7. 原稿締切 昭和 42 年 7 月 25 日 (火) 着信厳守のこと。

講演論文特集号発行のお知らせ

第 72 回講演大会(昭和 41 年 10 月)における第 2 種講演より、事後提出いただきました講演論文は「鉄と鋼」第 7 号(6 月号)講演論文特集号として発行することになりました。

また、第 73 回講演大会(昭和 42 年 4 月)における第 2 種講演の講演論文は 5 月 10 日までに投稿の分を審査のうえ「鉄と鋼」第 10 号(9 月号)に掲載発行の予定でありますのでお知らせいたします。